

栗橋国際カントリー倶楽部

令和5年度 理事会 議事録

1. 開催日時 令和5年9月3日（日） pm0：30～pm1：30
2. 出席者
理事長 塚田 進 キャプテン 石井 宏
理 事 木戸 外司 坂根 英一 日下部 武一 高橋 儀友
以上6名出席 事務局 森田 安田
3. 塚田理事長挨拶の後、議案審議に入った。
4. 議案審議
 - (1) 分科委員の資格について
現在、分科委員は入会後に立候補資格を取得出来る為、1年は倶楽部を見て頂く必要があるのではないかという意見があり、審議の結果、立候補資格を入会後1年経過した会員とした。
 - (2) 1番ホールと9番ホールの境界について
土手の工事に伴い1番、9番ホールのワンペナ杭を無くして営業していたが、故意に隣のホールに向けてティーショットを打つプレイヤーが増え、非常に危険であるとの意見があり、令和5年10月1日より1番ホールと9番ホールの境界に1ペナ杭を戻すこととした。
 - (3) 倶楽部選手権のクオリファイについて
倶楽部選手権の優勝賞品として報知アマプレイ代金を提供していたが、参加者から、優勝者への金額を減らし、予選通過者全員にネームタグを作成して欲しいとの要望が多数寄せられているとの報告があり、協議の結果、優勝者には報知アマゴルフ選手権のエントリーフィのみ補助することとし、予選通過者にプレートを作成することとした。
5. 事務局より報告があった。
令和5年度関東倶楽部対抗予選競技が、5月18日（木）にカントリークラブ・ザ・レイクスにて開催され、当倶楽部は21倶楽部中17位であった。
6. 石井キャプテン挨拶の後、理事会を終了した。

以上